

# V 発達障害の方を 対象とした調査



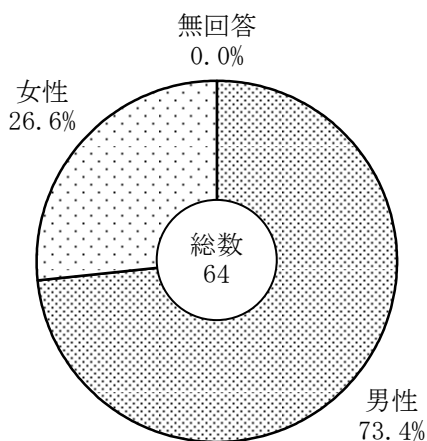
# 1 18歳未満の方

## (1) 性別

問1 お子さんの性別をお聞きします。(○はひとつ)

「男性」が73.4%、「女性」が26.6%となっています。

### 問1 性別

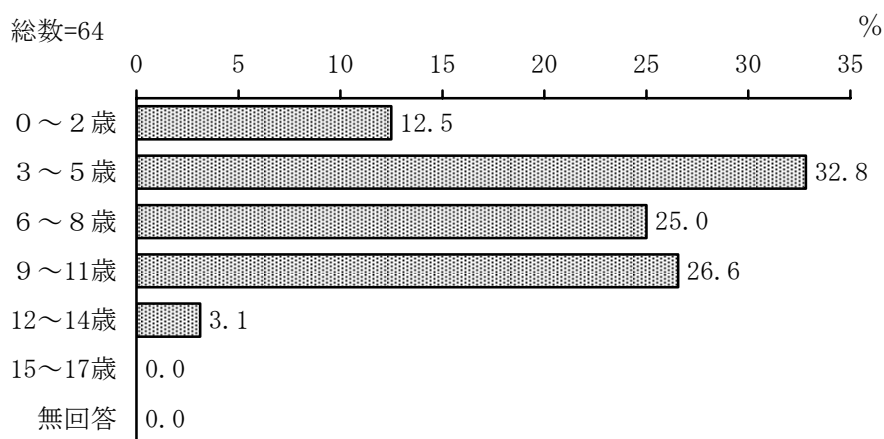


## (2) 年齢

問2 お子さんの年齢をお聞きします。

「3～5歳」が32.8%と最も多く、次いで「9～11歳」が26.6%、「6～8歳」が25.0%、「0～2歳」が12.5%となっています。

### 問2 年齢

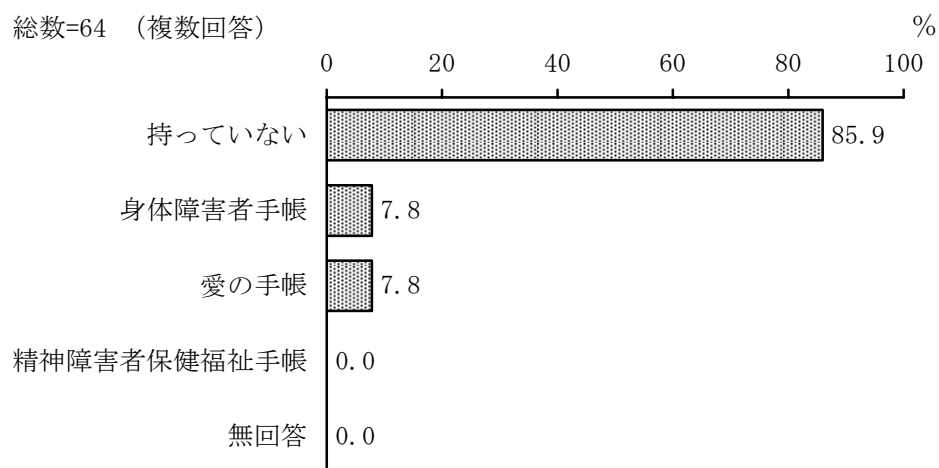


### (3) 障害者手帳の有無

問3 お子さんは障害者手帳をお持ちですか。(〇はいくつでも)

「持っていない」が85.9%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」と「愛の手帳」がそれぞれ7.8%となっています。

#### 問3 障害者手帳の有無

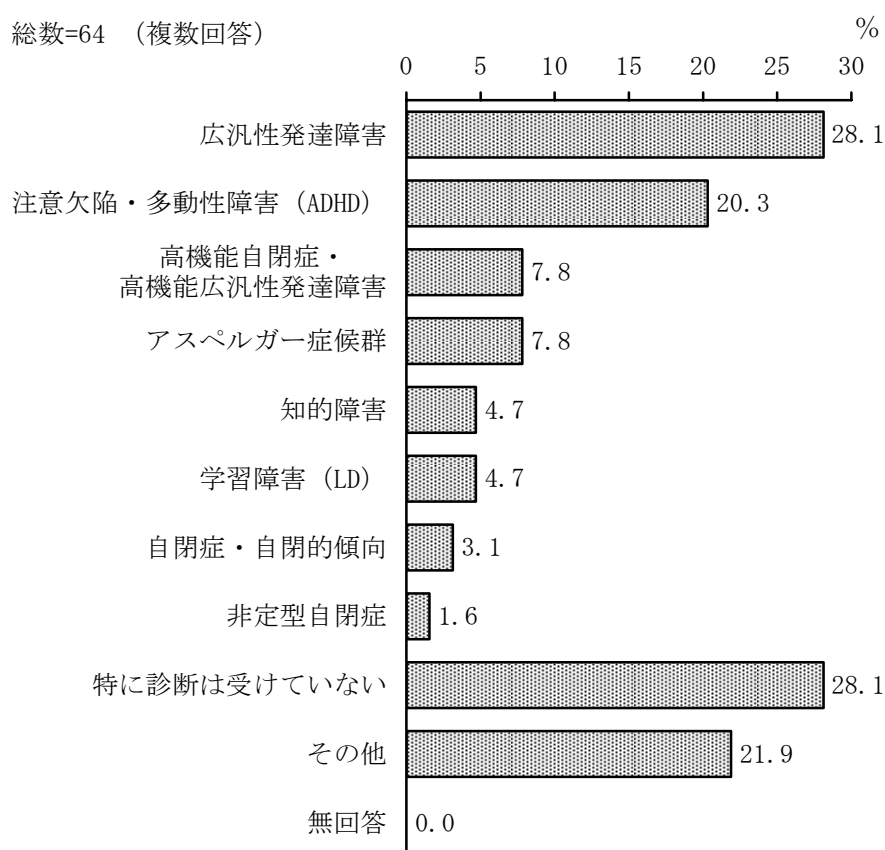


#### (4) 発達障害の診断

問4 お子さんは次のような診断を受けていますか。(〇はいくつでも)

「広汎性発達障害」が 28.1%と最も多く、次いで「注意欠陥・多動性障害 (ADHD)」が 20.3%、「高機能自閉症・高機能広汎性発達障害」と「アスペルガー症候群」がそれぞれ 7.8%となっています。一方、「特に診断は受けていない」が 28.1%と多くなっています。

#### 問4 発達障害の診断

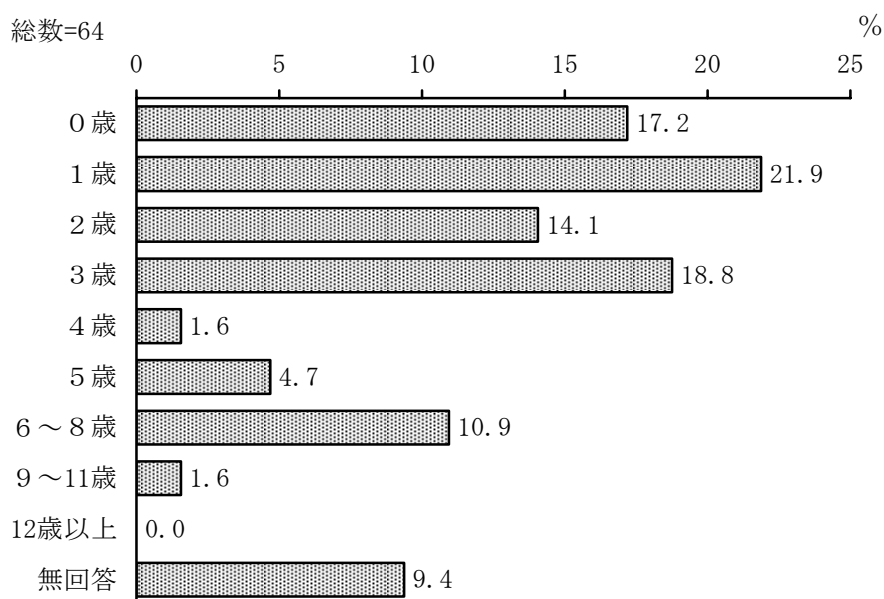


## (5) 発達に関する問題に気づいた時期

問5 お子さんの発達に関する問題について、ご家族が最初に気づいたのは何歳のときですか。(〇はひとつ)

「1歳」が21.9%と最も多く、次いで「3歳」が18.8%、「0歳」が17.2%、「2歳」が14.1%となっています。

### 問5 発達に関する問題に気づいた時期

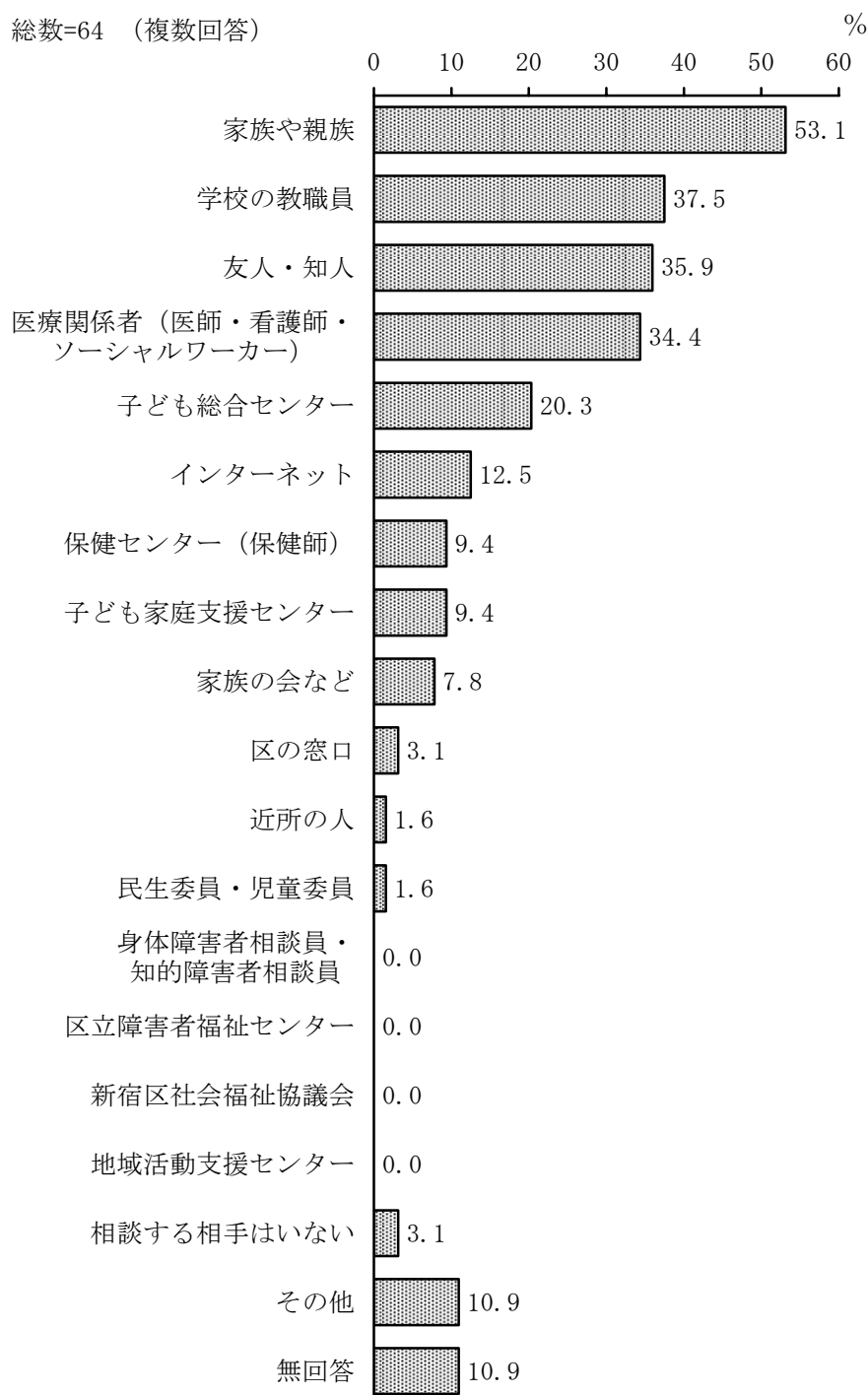


## (6) 困ったときの相談相手

問6 ご家族の方が困ったとき相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

「家族や親族」が53.1%と最も多く、次いで「学校の教職員」が37.5%、「友人・知人」が35.9%、「医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)」が34.4%となっています。

### 問6 困ったときの相談相手



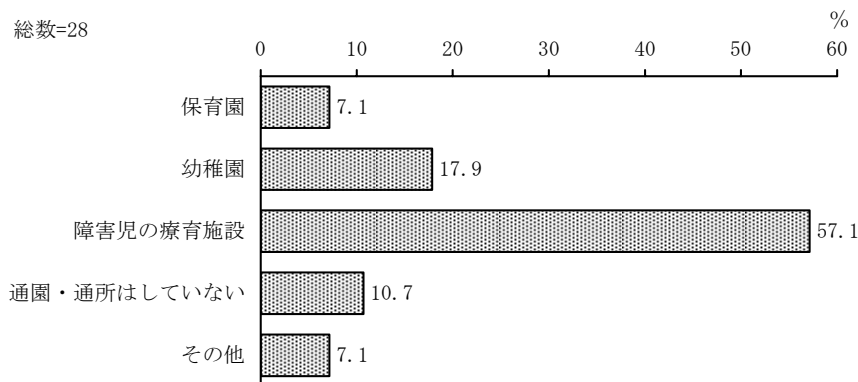
## (7) 通園・通学先

問7 お子さんが通っているところをお答えください。(〇はひとつ)

### ①通園・通学先 (小学校入学前)

「障害児の療育施設」が57.1%と最も多く、次いで「幼稚園」が17.9%、「保育園」が7.1%となっています。「通園・通所はしていない」は10.7%となっています。

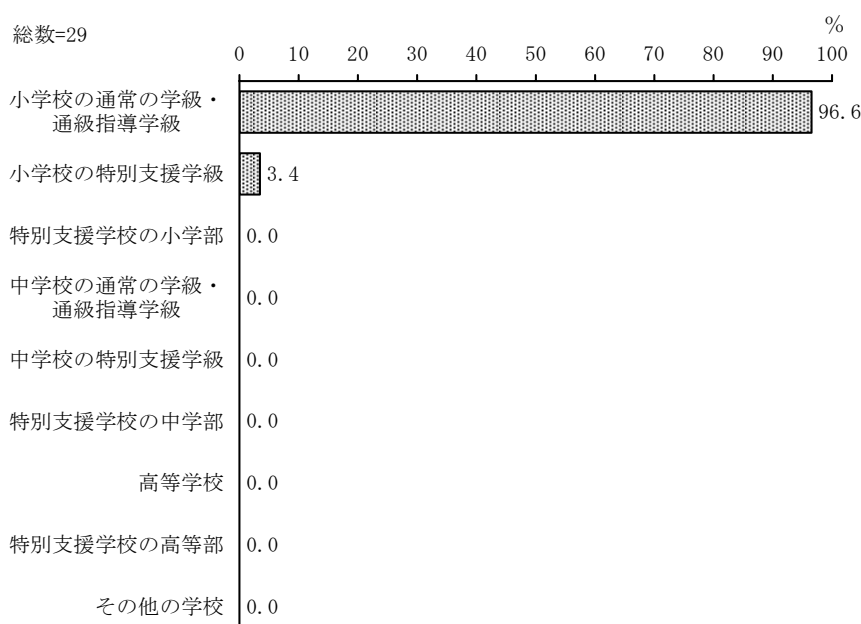
#### 問7① 通園・通学先 (小学校入学前)



### ②通園・通学先 (学校在学中)

「小学校の通常の学級・通級指導学級」が96.6%と最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が3.4%となっています。

#### 問7② 通園・通学先 (学校在学中)



### ③通園・通学先 (その他)

回答はありませんでした。

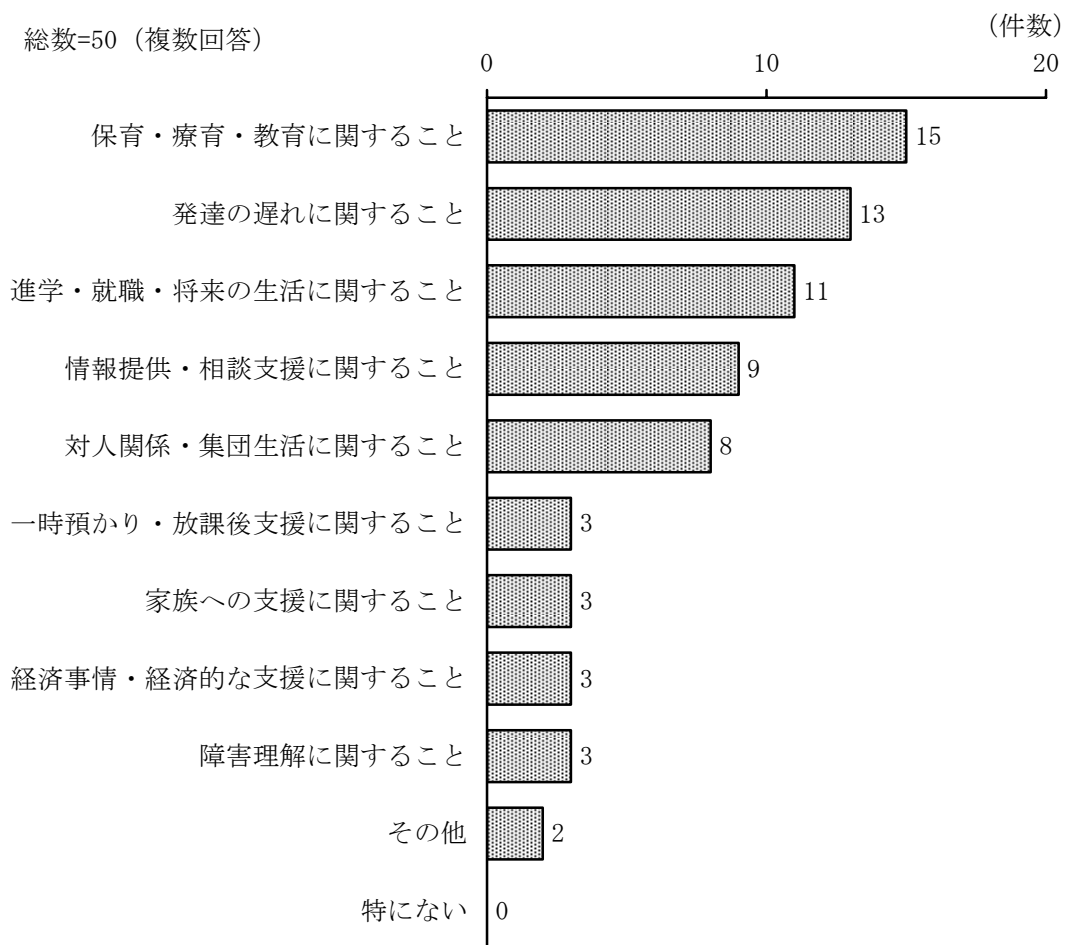


## (8) 発達や療育について困っていること

問8 お子さんの発達や療育について、困っていることや不安に思っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

「保育・療育・教育に関すること」が15件と最も多く、次いで「発達の遅れに関すること」が13件、「進学・就職・将来の生活に関すること」が11件となっています。

### 問8 発達や療育について困っていること

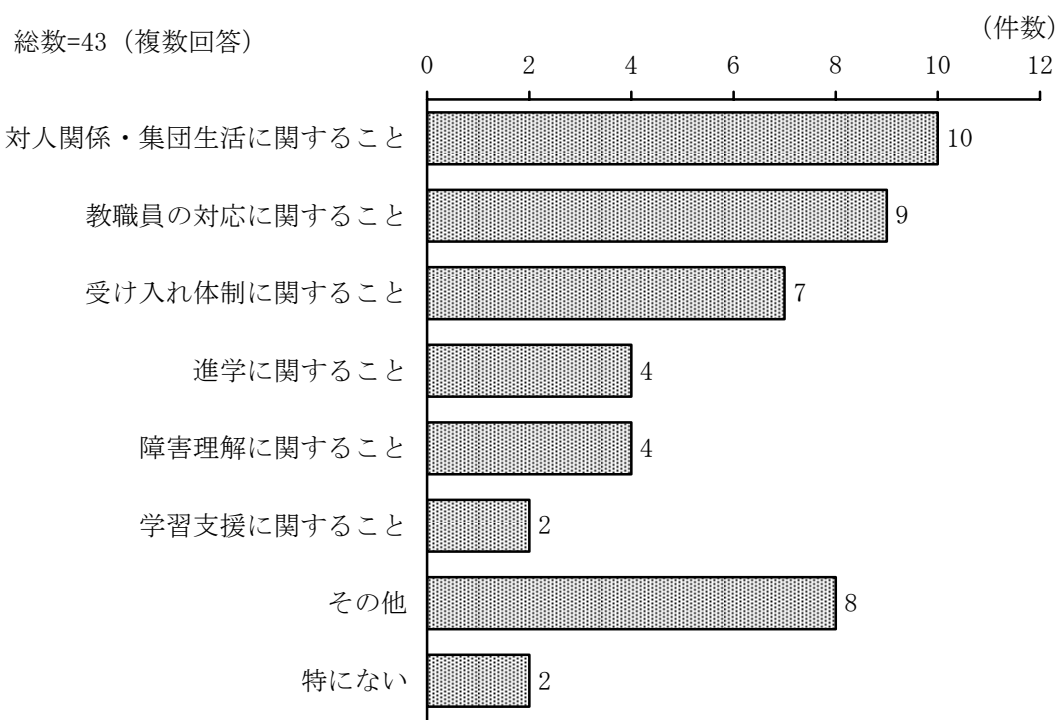


## (9) 学校生活等で困っていること

問9 学校や幼稚園・保育園等での生活について、困っていることや不安に思っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

「対人関係・集団生活に関すること」が10件と最も多く、次いで「教職員の対応に関すること」が9件、「受け入れ体制に関すること」が7件となっています。

### 問9 学校生活等で困っていること

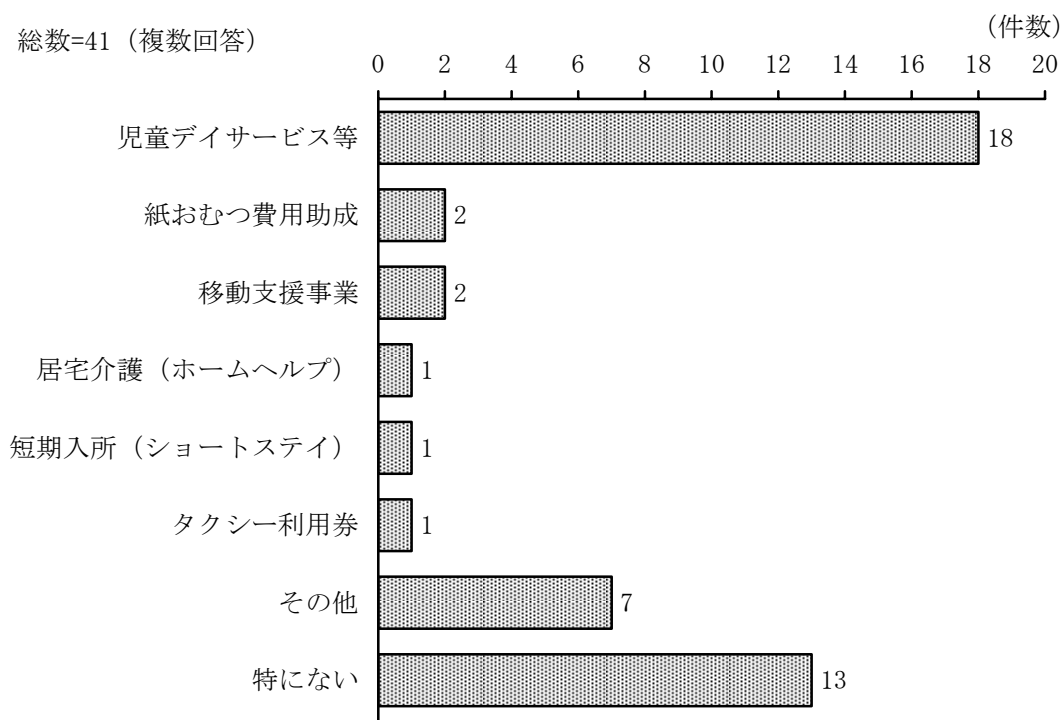


## (10) 利用しているサービス

問 10 現在、福祉などのサービスを利用していますか。利用している方はサービス名またはサービスの内容をお答えください。

「児童デイサービス等」が 18 件と最も多く、次いで「紙おむつ費用助成」と「移動支援事業」がそれぞれ 2 件となっています。

### 問 10 利用しているサービス

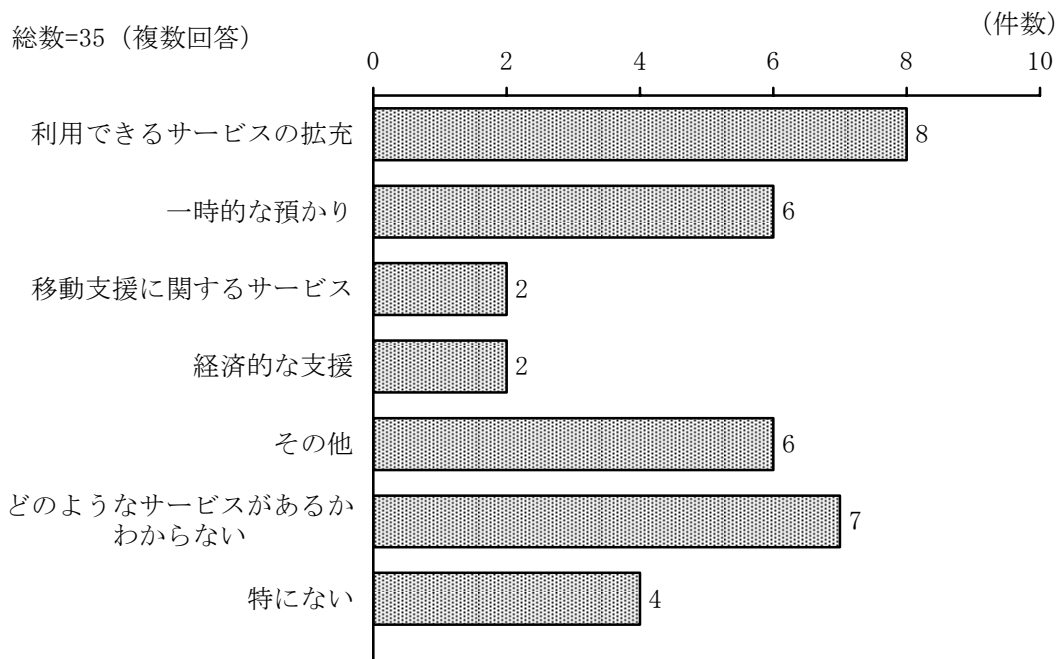


## (11) 利用したいサービス

問 11 今後、利用したい福祉などのサービスはありますか。サービス名またはサービスの内容をお答えください。

「利用できるサービスの拡充」が8件と最も多く、次いで「一時的な預かり」が6件、「移動支援に関するサービス」と「経済的な支援」がそれぞれ2件となっています。

### 問 11 利用したいサービス



## (12) 自由意見

問12 その他、区に対するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

「保育・療育・教育」についての意見が22件と最も多く、次いで「行政・制度」についての意見が11件、「障害への理解」についての意見と「一時的な預かり・家族支援」についての意見がそれぞれ5件となっています。

### 問12 自由意見

	全体	保育・療育・教育	行政・制度	障害への理解	一時的な預かり・家族支援	生活環境	情報・相談	進路・就職・将来の生活	その他
全体	50 100.0	22 44.0	11 22.0	5 10.0	5 10.0	4 8.0	2 4.0	1 4.0	12 24.0

\* 複数の分野にまたがる回答については、それぞれの分野の集計数に含まれています。

### ○主な意見

ここに掲載したのは回答の一部です。カッコ内は（年齢・性別）です。紙面の都合で回答の一部を省略・要約している場合があります。

#### ①保育・療育・教育（22件）

「働いていてもなかなか入れない保育園。働かずに保育園、幼稚園に付き添っても入れません。療育には付き添わなくてはならないです。生活費うんぬんより、入園できるシステムを作って頂きたいです。」（3歳・女性）

「小学校普通級でも安心して通えるようにしてほしいです。すぐに障害児として線を引いてしまうのではなく、できるなら普通の子ども達との集団生活で学んでいくことを望みます。幼稚園では介護員の先生が付いて下さいますが、小学校でもそのようなサービスがあると安心です。」（4歳・女性）

「発達障害の子の育児は想像以上に大変です。障害児一時保育の日数を月2回から月4～5回くらいに増やし、預かり可能人数を増やしてほしい。保育園の入園審査で、発達障害、障害者のいる家庭への配慮が欲しい。働けないことで、育児の負担に加えて金銭的負担まで加わっている。労働時間だけでは計れない状況がある。現在センターに親子通所しているが、親同士が話し合える時間を確保して欲しい、月1時間だけでもいいので。」（1歳・男性）

## ②行政・制度（11件）

「親としては幼稚園に通わせたら『友達にいじめられてないか・・・』など気が休まりません。できれば療育に通っている子専用の保育施設を作っていただきたい、それが出来なければ、そういう子には気を配っていただくように区からお願いできるようにしてもらいたい。」（2歳・男性）

「区内にあるプールに子どもと一緒に入りたくて問い合わせても障害児対応していなかったり、対応していてもオムツが外れていないと駄目で、大変困っております（本人の好きな事の中で1番が水遊び）。本人の好きな事を伸ばしてあげたいと思っても、民間施設だけでなく、都で運営しているものでも断わられてしまいます。」（4歳・男性）

## ③障害への理解（5件）

「保育園、幼稚園、小学校の保護者全員に、しっかりと発達障害についての認識を持つ機会を持って欲しいです。例えば、入園、入学説明会の時などにお話しして頂けるとうれしいです。リーフレット等は、読まない人が多いので、言葉やスライドを使ったりして教えてもらえると、入園、入学してからのトラブルが起こらずにすむのではないかと思います。」（8歳・女性）

「発達障がいのお子さんほどこの学校にもクラスにも必ずいます。今後の日本の教育場面でも対応する必要があると思います。そしてその子達もいずれは社会人になるのですが、その時の彼らの居場所も確保しなければなりません。そのためには、やはり幼少時期から当たり前の様に受け入れる場が必要なことと、社会全体が理解を深めるために、教育施設が受け入れ、常識のひとつとして対応するべきと思います。」（7歳・女性）

## ④一時的な預かり・家族支援（5件）

「親や兄弟が病気の時などに、障害児を一時的に預かってくれるサービスがあると良いです。うちの子は胃ろうで栄養注入が必要なため、なかなか緊急時に預かってくれる場所がなく困っています。事前に分かっている学校行事や、父親の出張などの時は、2ヶ月前に申し込みし、ショートステイに預けています。ショートステイも希望が通らない時もあります。新宿区でもショートステイサービスの施設があると良いです。」（4歳・男性）

「まだまだ保護者への支援が足りず、孤育てになり、学校との対応も上手にできていない。臨床心理士によるカウンセリングだけではなく、発達障害児を育ててきた保護者等の親の会なども相談機関として活用し（例：助成を出してカウンセリング業務をしてもらう等）、孤立しているお母さんを元気にしてあげたいです。」（11歳・男性）

## ⑤生活環境（4件）

「区内にある駅にいまだにエレベーターがない所があり、外出にためらう（場所を選ばないといけない）事があるので、どの駅にもあると大変嬉しいのですが、また、震災後の節電対策でエレベーターを（エスカレータまで）止めている駅が多く大変困りました。」（4歳・男性）

「バス停留所が利用しやすくなると嬉しいです。屋根やベンチなど、また車椅子の方もバスを待たれるので、スペースや雨天時に対応できる設備を願っております。」（5歳・女性）

## ⑥情報・相談（2件）

「情報が少なすぎ、相談相手もない。民生委員も学校行事で見かける程度で、話したこともない。『地域で子どもを育てる』というのは口ばかりで、実は親ばかりが負担をしている様に思う。」（10歳・男性）

「保健師さんに相談しても様子を見ましようと言われた後、半年一年経っても、こちらが電話で相談しても、アドバイスもなく、療養施設を案内されるわけではなく、全く相談相手にならない。こちらは不安な毎日を過ごし、自殺も考えた日も何度もありました。一体どこを頼っていいものか、保健師は何の為に存在するのか。区の方に電話しても話を聞いてくれるだけで、アドバイスなどはなく、あまり頼りになりません。」（3歳・男性）

## ⑦進路・就職・将来の生活（1件）

「高校の選択は色々と分かれているので本人に合う所を探せるような気がしますが、中学校に関しては普通級か固定級の選択になるので、普通でも十分な支援を受けられ先生方の理解や配慮の教育（指導）をお願いしたいと思います。その子の特性に合った支援を中学校に望みます。」（11歳・男性）

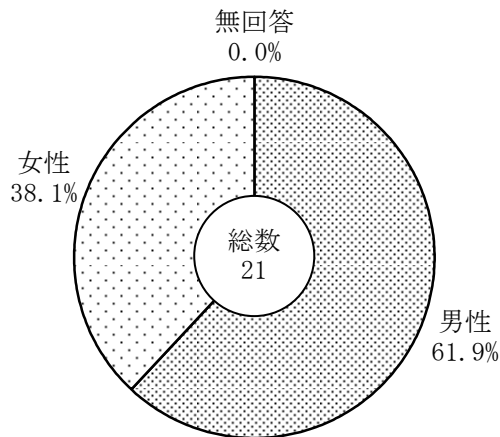
## 2 18歳以上の方

### (1) 性別

問1 あなたの性別をお聞きします。(〇はひとつ)

「男性」が61.9%、「女性」が38.1%となっています。

#### 問1 性別

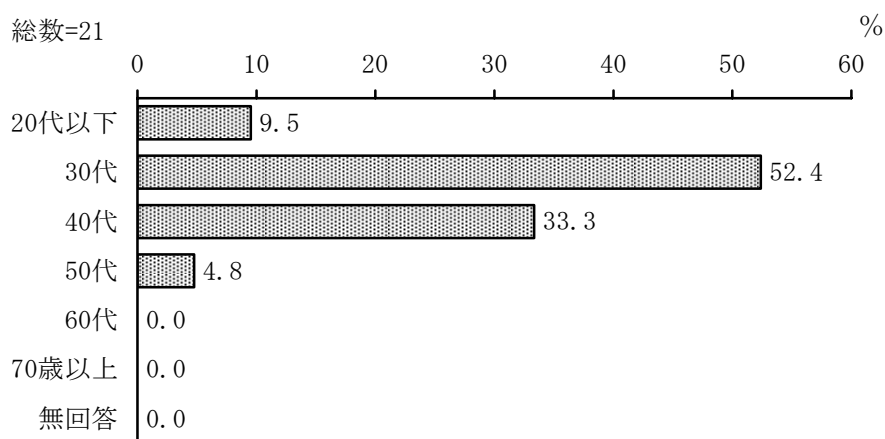


### (2) 年齢

問2 あなたの年齢をお聞きします。

「30代」が52.4%と最も多く、次いで「40代」が33.3%、「20代以下」が9.5%、「50代」が4.8%となっています。

#### 問2 年齢



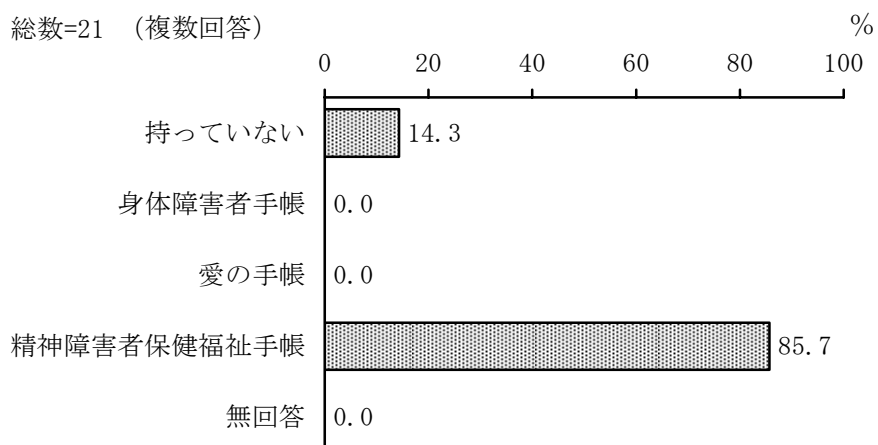


### (3) 障害者手帳の有無

問3 あなたは障害者手帳をお持ちですか。

「精神障害者保健福祉手帳」が85.7%、「持っていない」が14.3%となっています。

#### 問3 障害者手帳の有無

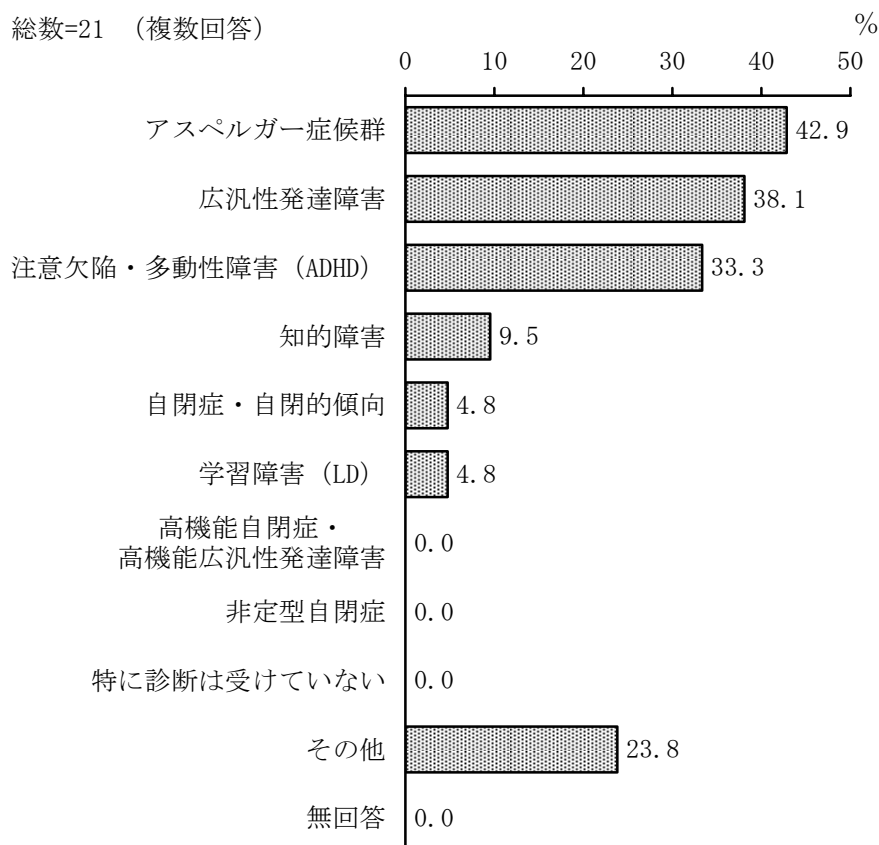


#### (4) 発達障害の診断

問4 あなたは次のような診断を受けていますか。(〇はいくつでも)

「アスペルガー症候群」が42.9%と最も多く、次いで「広汎性発達障害」が38.1%、「注意欠陥・多動性障害 (ADHD)」が33.3%、「知的障害」が9.5%となっています。

#### 問4 発達障害の診断

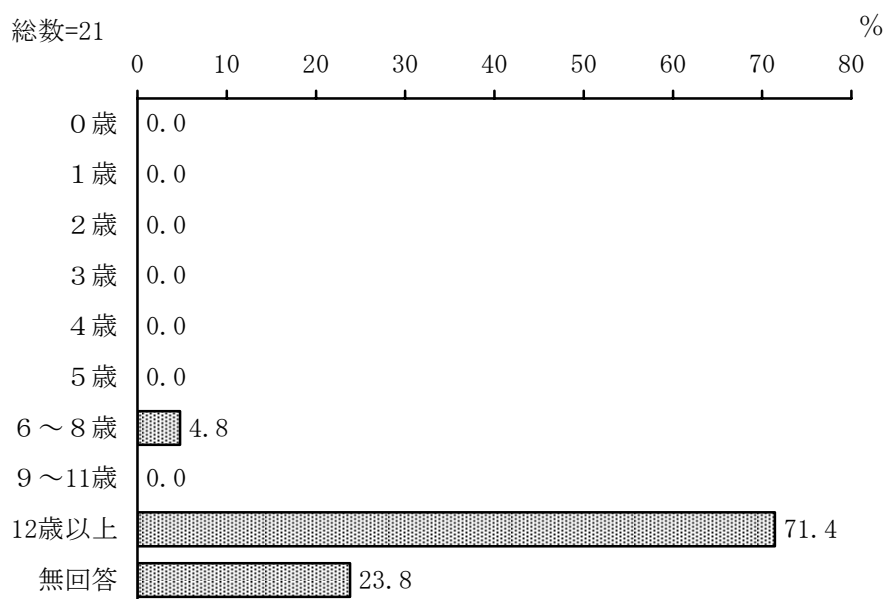


## (5) 家族が発達に関する問題に気づいた時期

問5 あなたの発達に関する問題について、ご家族が最初に気づいたのは何歳のときか。(〇はひとつ)

「12歳以上」が71.4%と最も多く、次いで「6～8歳」が4.8%となっています。

### 問5 家族が発達に関する問題に気づいた時期

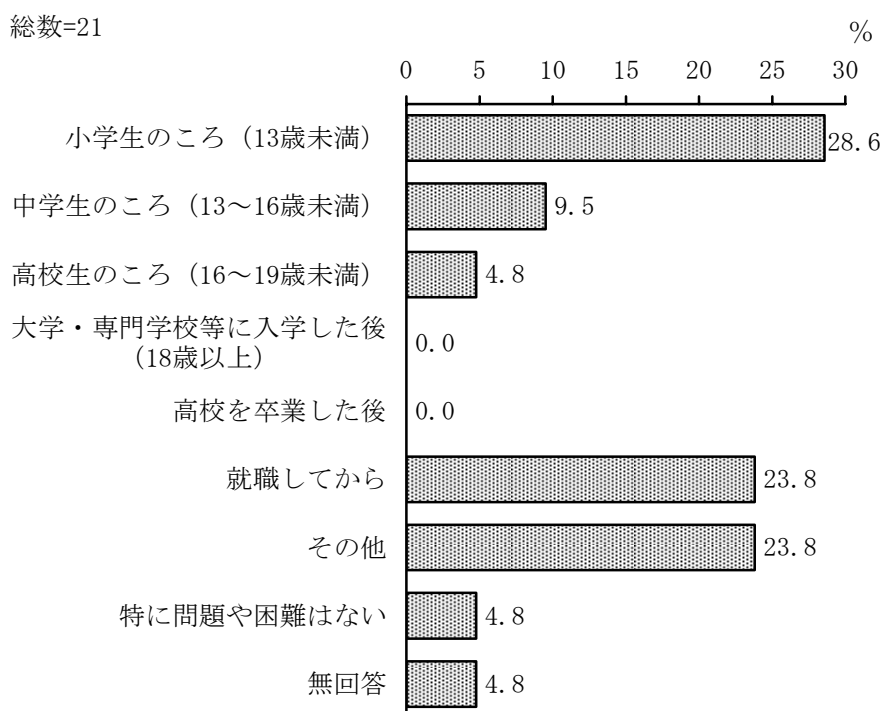


## (6) 自身が発達に関する問題に気づいた時期

問6 **あなたご自身が、発達障害に基づく日常生活の問題や困難に気づいたのはいつごろですか。**(○はいくつでも)

「小学生のころ(13歳未満)」が28.6%と最も多く、次いで「就職してから」が23.8%、「中学生のころ(13~16歳未満)」が9.5%、「高校生のころ(16~19歳未満)」が4.8%となっています。

### 問6 自身が発達に関する問題に気づいた時期

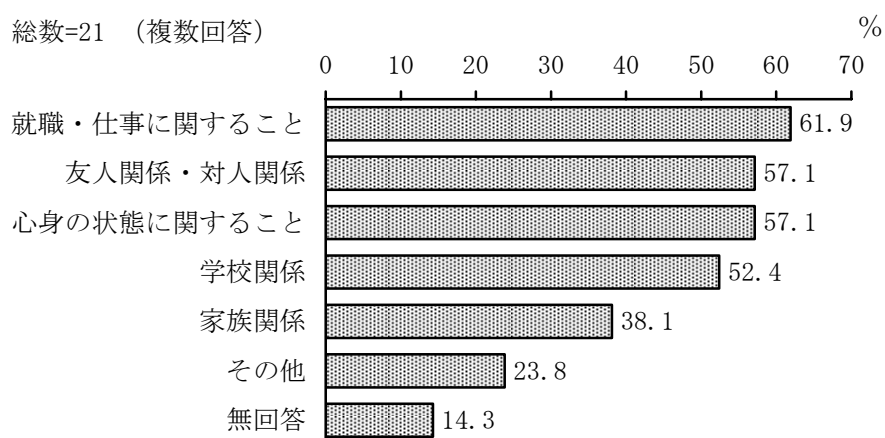


## (7) 発達に関する問題の内容

問7 それはどのような問題や困難でしたか。(〇はひとつ)

「就職・仕事に関すること」(『仕事を覚えられない』『社内で孤立する』など)が61.9%と最も多く、次いで「友人関係・対人関係」(『いじめられる』など)と「心身の状態に関すること」(『うつ』など)がそれぞれ57.1%、「学校関係」(『集団行動ができない』『友達をつくれぬ』など)が52.4%となっています。

### 問7 発達に関する問題の内容

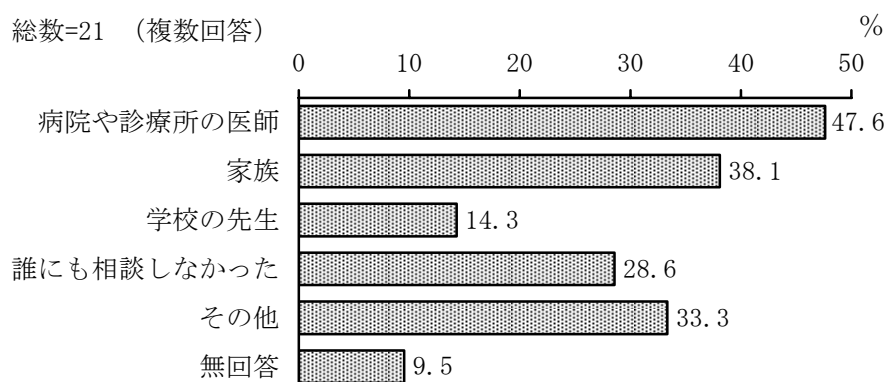


## (8) 相談した相手

問8 その時誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

「病院や診療所の医師」が47.6%と最も多く、次いで「家族」が38.1%、「学校の先生」が14.3%となっています。「誰にも相談しなかった」は28.6%でした。

### 問8 相談した相手

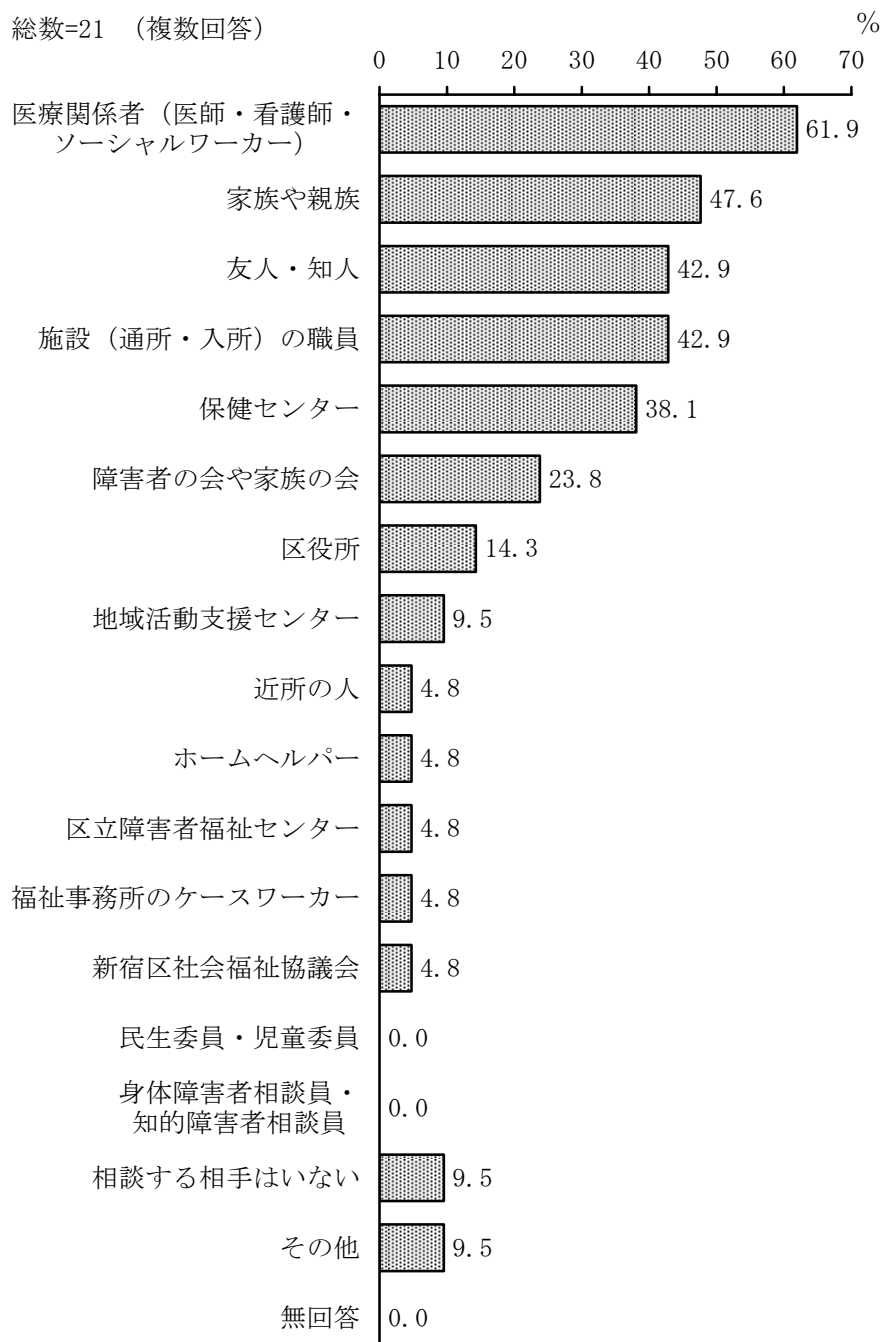


## (9) 困ったときの相談相手

問9 あなたやご家族の方が困ったとき相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が61.9%と最も多く、次いで「家族や親族」が47.6%、「友人・知人」と「施設（通所・入所）の職員」がそれぞれ42.9%となっています。

### 問9 困ったときの相談相手

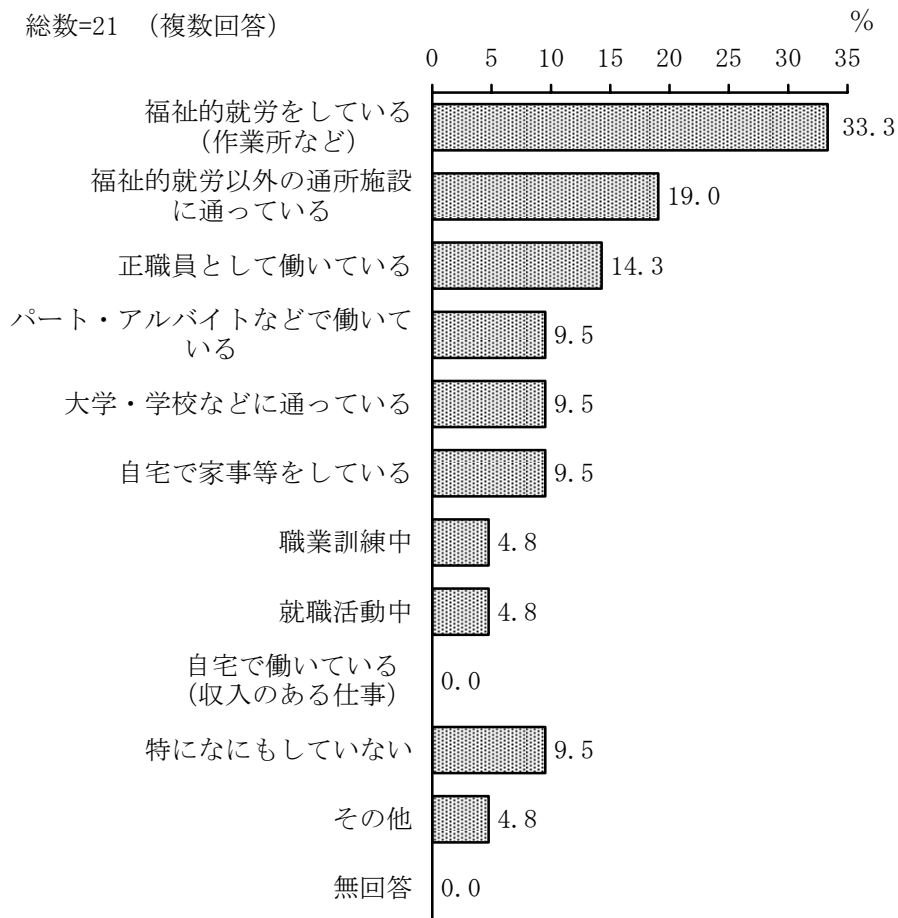


## (10) 日中の過ごし方

問 10 あなたは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。

「福祉的就労をしている（作業所など）」が 33.3%と最も多く、次いで「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が 19.0%、「正職員として働いている」が 14.3%となっています。

### 問 10 日中の過ごし方

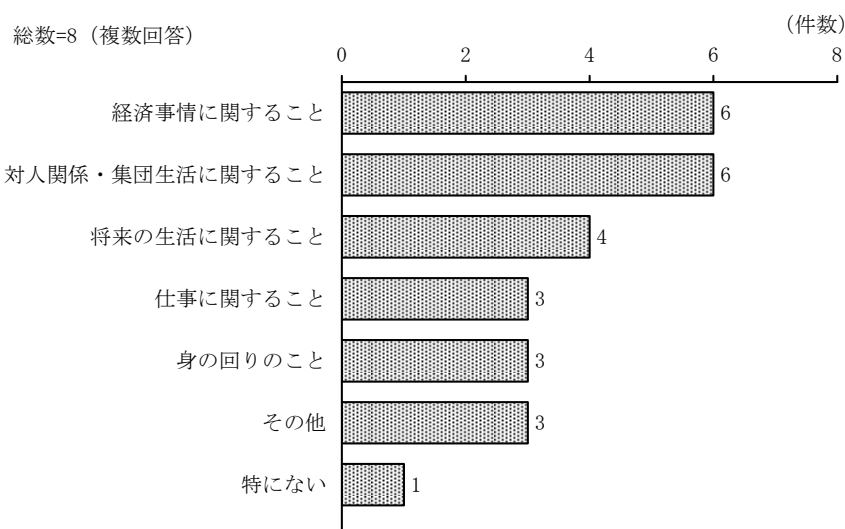


## (11) 日常生活で困っていること

問 11 日常生活について、困っていることや不安に思っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

「経済事情に関すること」と「対人関係・集団生活に関すること」がそれぞれ6件と最も多く、次いで「将来の生活に関すること」が4件となっています。

### 問 11 日常生活で困っていること

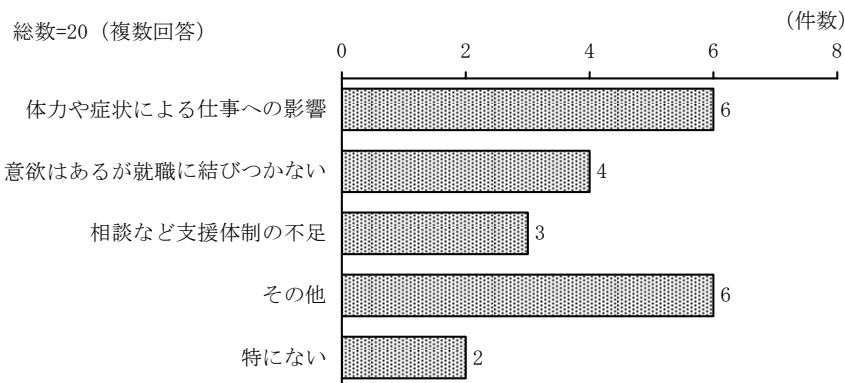


## (12) 就労や日中活動等について困っていること

問 12 就労や日中活動等について、困っていることや不安に思っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。

「体力や症状による仕事への影響」が6件と最も多く、次いで「意欲はあるが就職に結びつかない」が4件、「相談など支援体制の不足」が3件となっています。

### 問 12 就労や日中活動等について困っていること



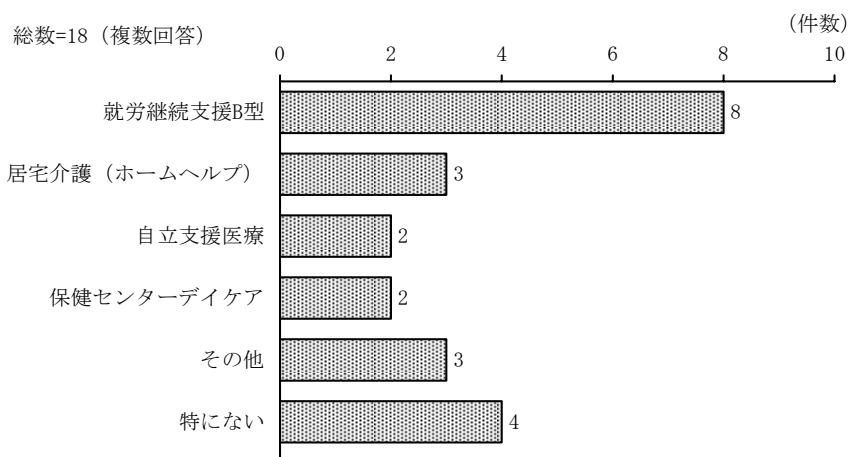


### (13) 利用しているサービス

問 13 現在、福祉などのサービスを利用していますか。利用している方はサービス名またはサービスの内容をお答えください。

「就労継続支援B型」が8件と最も多く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が3件、「自立支援医療」と「保健センターデイケア」がそれぞれ2件となっています。

#### 問 13 利用しているサービス

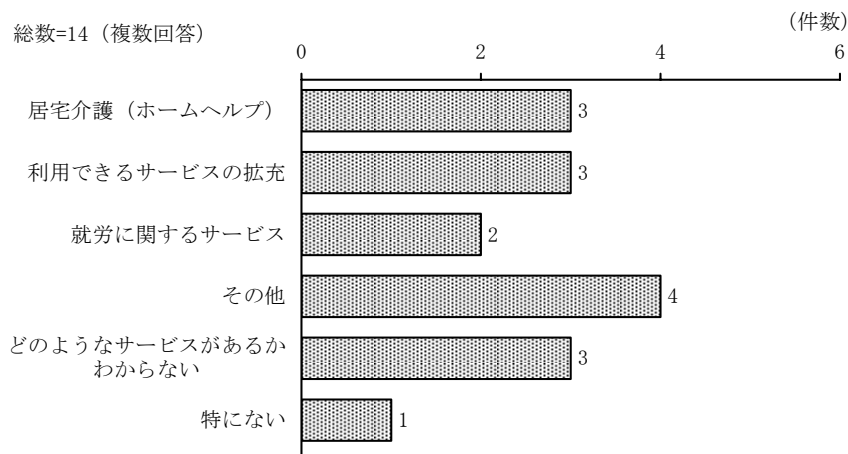


### (14) 利用したいサービス

問 14 今後、利用したい福祉などのサービスはありますか。サービス名またはサービスの内容をお答えください。

「居宅介護（ホームヘルプ）」と「利用できるサービスの拡充」がそれぞれ3件と最も多く、次いで「就労に関するサービス」が2件となっています。

#### 問 14 利用したいサービス



## (15) 自由意見

問 15 その他、区に対するご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

「行政・制度」についての意見が8件と最も多く、次いで「就職・将来の生活」についての意見が3件、「経済的事情・経済的支援」についての意見と「障害への理解」についての意見がそれぞれ2件となっています。

### 問 15 自由意見

	全体	行政・制度	就職・将来の生活	経済的事情・経済的支援	障害への理解	情報・相談	その他
全体	15 100.0	8 53.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	2 13.3

\* 複数の分野にまたがる回答については、それぞれの分野の集計数に含まれています。

### ○主な意見

ここに掲載したのは回答の一部です。カッコ内は（年齢・性別）です。紙面の都合で回答の一部を省略・要約している場合があります。

#### ①行政・制度（8件）

「自立促進の為の内容が、はっきりしない為、生活に困るという事が起こっています。財政を言うなら、この様な現状を考えて支援すべきです。特に、障害の可能性が分かっても手続きがとれなくては非常に困ります。」（40歳・男性）

「精神障害者、発達障害者も移動支援に関してもう少し便宜を計ってほしい（都営交通やバス半額サービスはあるが）。JRでの移動料金が安くなれば就職活動がしやすくなるので。」（38歳・女性）

「3障害の中で全然世間に知られてない、福祉サービスが殆どない。ADHDの人の特効薬リタリンが禁止されて、18歳未満の発達障害者にはコンサータ、ストラテラが出せるが18歳以上の発達障害者には薬が出せないのはおかしい、大人になっても治る障害ではない。」（30歳・男性）

## ②就職・将来の生活（3件）

「いつか一人暮らしがしたいので、そういう支援をしてほしい。」（35歳・女性）

「働ける場所や種類を増やしたりしてほしい。あと、認知療法、セルフコントロールとか学べることをできるようにして、自立、自力で生きる助けをしてほしいですね。」（46歳・女性）

## ③経済的事情・経済的支援（2件）

「3障害（身体、知的、精神）はJR、高速バスを安い半額にしてほしい。月々少しいので、障害者手当が欲しい。」（30歳・男性）

「補助金をもっと出して頂ければと存じます。」（48歳・男性）

## ④障害への理解（2件）

「発達障害に対する更なる理解が欲しい。精神科医であっても発達障害に対して理解していない医師が多いと思う。もっと啓発活動をして欲しい。子供、未成年者に対する支援は進んでいるように思われるが、大人の発達障害に対する支援が不足していると思う。」（48歳・男性）

「発達障害について役所の人でも理解しようとしていない感じがとてもする。」（41歳・男性）

## ⑤情報・相談（1件）

「情報が少な過ぎる。どのような社会資源があるかも分からない。正直なところ、新宿区に住み続けるメリット、インセンティブはあまりなく、他区への転居を考えているところ。」（34歳・男性）

